

# 競技規則の要点

## 1. 競技場について

- ① 塁間は、16mで実施します。
- ② コーチーズサークルは、設けません。(コーチャーは立てません)

## 2. 用具について

- ① 試合に使用する用具(ボール・バット・バッティンググローブ)は主催者で用意します。(グローブは、各自で用意してください。金属スパイクは禁止です。)
- ② ボールは、ケンコーティーボール11インチゴム製を使用します。

## 3. チーム編成とプレイヤー

- ① プレイヤーは、10人とします。エキストラヒッター(打つだけの選手)は採用しません。
- ② 基本的守備位置については、競技規則で確認しておいてください。
- ③ メンバー表の交換は、特に行いません。
- ④ 背番号を必ずつけて、メンバーが確認できるようにしてください。

## 4. 試合について

- ① トーナメント方式で行います。
- ② 全員攻撃制、1回戦のみ3回(イニング)を実施する。(ただし、30分を過ぎた時点で新しいイニングには入らない。)  
2回戦(含む敗者戦)以降は、2回(イニング)を実施する。
- ③ 試合の最終回が終了した時点で同点の場合は、各チーム選手10人の抽選により、順位を決定する。

但し、決勝戦はタイブレーク(満塁：走者8、9、10番打者、打者3人：1～3番打者)を行う。タイブレークで勝敗が決しないとき、抽選を実施する。

### ④ 全員攻撃制の注意点

- ・ 両チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側の全打者が攻撃を完了した時点で攻守を交代します。3回又は2回(イニング)を終えたときに、得点の多いチームが勝者となります。
- ・ 残塁の走者は次の回に受け継ぎます。(最終回を除く。)
- ・ 1回と2回の最終バッターるとき、フライを打った時やフォースプレーが行われた場合、塁上のランナーは進塁は認めません。

- ⑤ 次の試合のチームは、前の試合が終了するまでに移動や準備を完了しておいてください。(すぐに試合が始められるよう協力をお願いします。)
- ⑥ 試合をスピーディーに進めるため、フィールディングとボール回しは禁止します。

## 5. 打者(バッター)について

- ① 「プレイ」の宣告後、速やかにバッティングを行ってください。
- ② 打つときに、軸足を2歩以上動いたとき、ストライクです。
- ③ ボールに触れずにバッティングティーを打ったとき、ストライクです。
- ④ バントは禁止です。バントやプッシュバントと球審が判断したとき、ストライクです。※ 故意に、スウィングを遅くしたときもストライクです。
- ⑤ 第2ストライク後、打球がファールボールとなったとき、アウトです。
- ⑥ バットを放り投げ、危険と判断したとき、球審の判断でアウトにすることもあります。

## 6. 走者(ランナー)について

- ① 離塁は打者が打撃した後とし、違反した場合はアウトになります。
- ② 盗塁は禁止です。(タッチアップは認められます。)
- ③ スライディングは禁止とし、すべての塁で駆け抜けを認めます。ただし、次塁をねらう意思があると判断された場合は、駆け抜けとはみなさない。
- ④ インフィールドフライはありません。
- ⑤ きわどい場面は、審判に一任してください。

## 7. ボールデッドについて

- ① プレイが一段落した段階(守備側の内野手がボールを保持し、攻撃側の走者が進塁の意思を見せずに止まったとき)で、ボールデッドの判断をします。
- ② ボールがファウルラインの外に出た時は基本的にはフリーです。ただし、会場の状況により審判が判断します。

※ その他のルールについては、「公認ティーボール規則」に準じて実施します。  
ただし、ティーボールの理念から、その状況に応じて特別な配慮をすることもあります。  
その場合は、審判の指示に従ってください。